

協和小学校 「GIGA でつなぐ学びの協力和合」

「協和小らしい GIGA スクール」とは、タブレット端末を最大限に利活用しながら、児童・教師が「協働的な学び」を全教育活動で実践する「GIGA でつなぐ学びの協力和合」です。

授業では、国語科を中心に社会科や理科などでロイロノートのスライド作成（共同作業）をし、教師と児童、児童同士の主体的・対話的で深い学びを実践しています。また、学習の振り返りをスクールライフノートへ入力し、何を学んだかを確かめ合い、教師が児童一人一人にコメントすることで、学習への意欲付けとなっています。さらに、タブレット端末を家庭へ持ち帰り、自らナビマを使って復習をしたり、デジタル教科書を見て予習をしたりして、個別最適な学びにも役立っています。高学年を中心に、夏休みの課題をタブレット端末で取り組み、その模様がテレビで報道されました。タブレット端末の利活用は、教科の学習だけでなく、委員会活動でのアンケート実施や校外の自主学習などに役立っています。様々な場面で活用することで、1・2年生のキーボード入力も大変上手に早くできるようになりました。

6月には、松ヶ崎小学校と5年生理科のオンライン合同授業を実施しました。「自分の考えが多くの友達に伝えられて嬉しかった」等の感想があり、「学びに向かう力、人間性等」も少しずつ高められているようです。今後も、継続的に他校とのオンライン合同授業が実施できるように計画を進めていき、「GIGA でつなぐ学びの協力和合」を更に広げていきたいと思います。



▲自分の目で観察しタブレット端末で記録している児童の様子（3年生理科）